



最新の情報技術を活用したまちづくり  
**情報技術まちづくり  
 フェア2005**

——GPSと地理情報の活用をめざして——

北見工業大学創立45周年記念協賛事業

DATE

**2005年10月7日(金)**  
 10:00▶17:00

PLACE

**北見工業大学総合研究棟 [SVBL]**  
 北海道北見市公園町165番地  
 ※北見工業大学前に臨時駐車場を用意いたしております。

最新の情報技術を活用したまちづくり  
**情報技術まちづくりフェア2005**

——GPSと地理情報の活用をめざして——

北見工業大学創立45周年記念協賛事業

●主催●

情報技術まちづくりフェア実行委員会

●共催●

北見工業大学地域連携・研究戦略室、(社)日本技術士会北海道支部、北見地域GIS・GPS研究会、

●後援●

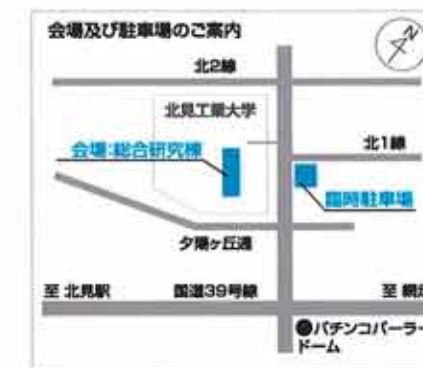
北海道総合通信局、北海道経済産業局、北海道開発局網走開発建設部、北海道網走支庁、北見市、  
 (財)北海道地域総合振興機構、(社)日本機械学会北海道支部、北見商工会議所、  
 (社)北見工業技術センター運営協会、北見ソフトウェア協会、オホーツク技術士協議会、  
 北見土木技術協会、「土木の日」北見地区実行委員会

●協賛●

(株)ウチダデータ、(有)ランドテック、応用地質(株)、(株)オホーツク位置情報サービス、(株)トフコン販売札幌営業所、(株)岩崎、KDDI(株)、  
 (株)小柳中央堂、(株)ヒューネス、Sky(株)、桜井(株)札幌支店、(株)システムビット、(株)つうけんテクノネット、(株)つうけんアドバンスシステムズ、  
 東日本電信電話(株)、(株)ピーシステム、福井コンピュータ(株)、グラフテック(株)、日本電気(株)、北海道ゼロックス(株)、  
 三菱電機(株)、アイサンテクノロジー(株)、ライカジオシステムズ(株)、(株)リプロダクション (順不同)

●運営協力●

(株)五十嵐建設、(株)岩崎、オホーツク情報産業事業協同組合、(株)オホーツク位置情報サービス、(株)小柳中央堂、櫻井測量(株)、  
 (株)システムサプライ、(株)システムビット、大起コンサルタント(株)、(株)ドボク管理、(株)ナオック、  
 永田建設(株)、(株)バル設計事務所、北海道(株)、北辰土建(株)



お問い合わせ・参加のお申込

情報技術まちづくりフェア実行委員会(北見工業大学SVB内)

TEL 0157-26-9157・FAX 0157-26-9155

E-mail arita@crc.kitami-it.ac.jp迄

北見工業大学創立45周年記念協賛事業

# 最新の情報技術を活用したまちづくり 情報技術まちづくり フェア2005

GPSと地理情報の活用をめざして

## 基調講演 ●14:00~16:30

※基調講演はあらかじめ参加申込が必要となります。

●講演テーマ:①

### 「情報による安全・安心の みち&地域づくり」

(独)北海道開発土木研究所道路部  
防災雪氷研究室長[工学博士・技術士] **加治屋 安彦氏**



千葉県出身、1981年東京工業大学土木工学科卒。工学博士、技術士(建設部門)。(独)北海道開発土木研究所の道路部防災雪氷研究室長として、現在冬期道路とITS(高度道路交通システム)に関する多くの研究プロジェクトを担当。1989~1990年にかけて1年間、米国連邦道路庁(FHWA)の関連機関である新道路研究計画(SHRP)に参加、冬期道路管理や道路気象情報システムの研究マネジメントに携わる。PIARC冬期道路管理委員会ならびにTRB冬期道路管理委員会のメンバー。北海道開発局や北海道運輸局、札幌市、JH日本道路公園の委員会委員など多数。

〈主な著書〉「雪国の視座(毎日新聞社)」、「2005除雪・防雪ハンドブック」(社)日本建設機械化協会、(社)雪センター、「雪と氷の事典」(朝倉書店、(社)日本雪氷学会監修)など。(いずれも分担執筆)

●講演テーマ:②

### 「空間情報社会と自治体GIS」

東京大学・空間情報科学研究センター  
センター長[工学博士・教授] **柴崎 亮介氏**



東京大学・空間情報科学研究センター教授・センター長、生産技術研究所教授(兼務)工学博士。1980年東京大学工学部卒、同大学院修了。1982~1988年建設省土木研究所、1988~1991年東京大学工学部助教授、1991~1998年同大学生産技術研究所助教授、1998~2005年同大学空間情報科学研究センター教授、2005年4月より現職。

都市・地域から地球までの広い領域を対象に、空間情報の収集や共有化を通じた情報環境デザインなどを研究活動のキーワードとして研究活動を行っている。国際的には、ISO(国際標準化機関)のTC211(地理情報専門委員会)において、空間データの品質評価手法プロジェクトチームリーダーを1996年から務めたほか、LBSなどのエキスパートも務めている。

基調講演では、会場内で(社)日本技術士会北海道支部によるe-ラーニング実証実験を予定しております。

## プレゼンテーションセミナー

### Section.1 10:00~10:50

①三菱電機(株)、アイサンテクノロジー(株) 会場①

**演題** 三菱高精度GPS測位サービスPASの紹介  
世界最先端の「FKP方式(面補正パラメータ)」を採用した精密測位サービスの紹介。衛星通信技術、公共測量対応、全天候・時間短縮・効率化の実現、電子納品。ペーパーレス化の対応などの用途が伴います。

②(株)リプロダクション 会場②

**演題** 「三次元写真計測システム」  
デジタルカメラの2枚以上の画像より創ることのできる三次元空間。誰にでも簡単にできる作成段階と実用例を説明します。

### Section.2 11:00~11:50

③(株)ピーシステム 会場①

**演題** GPS位置情報と画像を活用した  
新しい管理システムのご提案  
GPS位置情報とGIS空間情報を融合させた新しい管理システムについて提案します。地図とGPS位置情報、動画と全方位画像、これらをScanSurvey上で組み合わせた維持管理向けシステムについて説明します。

④(株)つうけんテクノネット、  
(株)つうけんアドバンスシステムズ 会場②

**演題** 新しいGIS属性データの作成と  
GIS利活用性への取り組み  
GISは地図情報と属性情報を効率的に管理できるとともに、計画立案にも利用できるツールであり、管理者のみならず住民情報配信ツールとしても有効であることから、属性データとして地形データ、土壌情報(水分、化学成分など)や微気象データを高密度に取得し、GISに取り込むことにより、従来より精密な情報を管理できる取り組みを紹介。

⑤日本電気(株) 会場③

**演題** 3次元GISを用いた住民サービスの向上  
航空写真を用いたリアルな3次元空間データをWeb配信する、3次元GISシステム「テラクルーザー」の紹介。視覚的効果の高い3次元空間データを用いることで、今以上に「わかりやすい」住民の方への情報公開を実現。都市計画図、ハザードマップ等の情報を、3次元で表現することで、住民サービスの向上を図ることが出来ます。インターネットを介した「双方向インターフェイス」により、住民参加型街づくりにおける住民との合意形成手段の構築、及び観光スポット・不法投棄箇所等の住民からの通報システムとしてもご活用できます。

### Section.3 13:00~13:50

⑥(株)トプコン販売札幌営業所、  
(株)オホーツク位置情報サービス、(株)岩崎 会場①

**演題** ポジショニングの3大革命  
測量・土木施工・計測分野においてGPS・ノンプリズム・画像を活用した3次元計測(ポジショニング)の最新技術を紹介いたします。

⑦桜井(株)札幌支店 会場②

**演題** EXELによるGIS・ファイリングの実践  
図画・デジタルデータ等を使用して具体的なGIS・ファイリングの構築手順を実演します。

⑧(株)小柳中央堂、(株)ヒューネス、Sky(株) 会場③

**演題** 統合型GISの活用と広域連携  
北見市の基盤地図整備事業を受託し、共有空間情報を集積するとともに、道路台帳GIS、固定資産GISなどを導入しております。こうした事例を基に統合型GISのさらなる利用による電子自治体の実現、新しい技術との融合による他分野でのGIS利用などを具体的に説明します。

## 展示・実演コーナー

●10:00~17:00

(株)ウチダデータ、(有)ランドテック

・GISプラットフォーム PC-MAPPING Ver.6

応用地質(株)

・実務型GIS(治山GIS)と地盤情報の解析・表現・理解を助ける3次元GIS

(株)トプコン販売札幌営業所、  
(株)オホーツク位置情報サービス、(株)岩崎

・RTK-GPS(GPS/GLONASSのハイブリットRTK受信機)  
・mm-GPS(GPSの高さ精度を向上させる技術)  
・画像計測ステーション(デジタルカメラを使用した3次元計測システム)  
・デジタルカメラ内蔵トータルステーション  
・超ロングレンジノンプリズムトータルステーション 他

KDDI(株)

・位置情報コンテンツサービスプラットフォーム\* goSVG\*  
地理情報が関連付けられたBlogデータから地理情報を自動的にSVG(XMLベースの2Dベクター画像記述言語)地図に重ね合わせて閲覧可能とするシステム。  
・オーサリングツール、地図情報も展示予定。

(株)小柳中央堂、(株)ヒューネス、Sky(株)

・GPS携帯とGISシステムの連携  
・WebGIS

桜井(株)札幌支店

・eGIS RV-stationLT  
EXELを利用したGIS(地理情報システム)。例えば、すでに運用されている住所一覧表・地籍一覧表etc....を地図情報と一元管理が可能。また、デジタル化された図面・写真・文書などのファイリングツールとしても利用可能。

(株)システムビット

・最新の高速無線インターネット

(株)つうけんテクノネット、  
(株)つうけんアドバンスシステムズ

・統合型GIS:自治体行政事務における業務別GISデータを統合化し、全庁的な業務の効率化を推進するための仕組み。  
・3D-GIS:地形データ、土壌情報等をGISデータに取り込み、3D-GIS化された情報を活用した研究事例の展示

東日本電信電話(株)

・微気象観測システム  
気象データ、地形データから小麦等の登熟予測、病害虫予測等が可能。  
・牛の放牧管理システム  
牛にGPS付の首輪を付け、行動把握や運動量の計測等が可能。

■参加申込書

参加のお申込は、北見工業大学 SVBL FAX [0157-26-9155]・E-mail arita@crc.kitami-it.ac.jp迄

お名前	会社名
ご住所	
お電話	E-mail

基調講演に 参加する 参加しない

プレゼンテーションセミナー Section.1 (1)(2) Section.2 (3)(4)(5) Section.3 (6)(7)(8)

※各セッションからお一つづつお選び下さい。

【お問い合わせ】情報技術まちづくりフェア実行委員会(北見工業大学SVB内)  
TEL 0157-26-9157・FAX 0157-26-9155 E-mail arita@crc.kitami-it.ac.jp迄

参加申込締切:9/27(火) 必着

(株)ピーシステム

・ScanSurvey:デジタルデータ作成と簡易GIS構築ツール  
・GPS調査システム:GPSによる座標システム及びナビゲーション機能  
これらを融合させた新しい管理システム

福井コンピュータ(株)、グラフィック(株)

・デジタル地形測量システムBLUETREND Field com(電子平板)  
・ハンディ観測システム TREND Pocket(モバイル電子平板)  
・測量計算CADシステムBLUE TREND V(測量計算CAD)  
・A1インクジェットプロッターJW310-06(CAD図面印刷)

日本電気(株)

・統合GIS:個別地図システムの統合を実現、その他先進事例を紹介

北海道ゼロックス(株)

・社内ネットワークのセキュリティサービス  
・ファイウォール、アンチウイルスなど

三菱電機(株)、アイサンテクノロジー(株)

・GIS機材を使用し、三菱電機製FKP/PAS配信を行います。配信データを使用し、アイサンテクノロジー製Mobile-Neoを活用、現地の数値地図を利用して観測したデータをその場で確認できるシステムの紹介。

ライカジオシステムズ(株)

・HDS:3次元レーザースキャナー  
・GPS1200シリーズ:RTK-GPS  
・TPS1200シリーズ:モーター駆動型ノンプリズムTPS  
・スマートステーション:世界初のGPSとTSPの一体型モデル  
・その他計測機器、測量機器

(株)リプロダクション

・3次元構造物診断システム(写真図化) [Kuraves-G2]  
・ラージフォーマット画像処理ソフトウェア[AUPIER-GigaLay]

## ご来場抽選会!!

ご来場のお客様にもれなくチャンスです!!  
アンケートにご協力いただいた方、先着500名様に  
パソコン周辺機器などが、抽選で当たります。  
お気軽にご来場下さい。

同日開催  
11月18日は、土木の日!!  
「土木の日」北見地区実行委員会主催  
網走開発建設部北見道路事務所パネル展  
「自然環境に配慮したみちづくり」